

1. 概要・これまでの経緯

具体的対応方針とは、① 2025 年を見据えた構想区域において担うべき役割（病床機能）、② 2025 年に持つべき医療機能ごとの病床数を含む計画等であり、第 1 回地域医療構想調整会議（R4.10.11）にて、回復期・慢性期機能を担う病院（高度急性期・急性期病床を保有しない）および有床診療所については合意したところであり、高度急性期・急性期を担う病院（以下、急性期病院という）については検討を進めることとしたが、検討内容も踏まえて、本日の方向性としては下記 4 のとおりとしたい。

2. 各医療機関の病床機能および病床数 資料 3—2 のとおり

3. 急性期病院の地域での主な役割（事前の意見交換会（R5. 2. 16）での意見 参照）

病院名	主な病床機能	地域での主な役割
滋賀医科大学附属病院	高度急性期（83%）	<ul style="list-style-type: none"> 県内全域・県外患者への高度急性期医療の提供 特定機能病院としての役割 医学生教育や専門医育成の基幹施設（医育機関）としての役割
大津赤十字病院	高度急性期（73%） 急性期（20%）	<ul style="list-style-type: none"> 地域での高度急性期医療の提供 地域医療支援病院としての役割 救命救急医療、災害医療への対応
大津市民病院	急性期（93%）	<ul style="list-style-type: none"> 地域での急性期医療の提供 公立病院・地域医療支援病院としての役割
JCHO 滋賀病院	急性期（68%） 回復期（32%）	<ul style="list-style-type: none"> 大津市南部地域の急性期患者への対応 地域の急性期から回復期までの様々な段階の患者への対応 在宅医療・訪問診療の後方支援
琵琶湖大橋病院	急性期（24%） 回復期（24%） 慢性期（52%）	<ul style="list-style-type: none"> 大津市北部地域の急性期患者への対応 圏域外を含む循環器・透析患者への対応 在宅医療・訪問診療の実施・支援
大津赤十字志賀病院	急性期（33%） 回復期（33%） 慢性期（33%）	<ul style="list-style-type: none"> 地域の急性期から慢性期までの様々な段階の患者への対応 在宅医療・訪問診療の実施・支援

※ 主な病床機能は、令和 4 年度病床機能報告における「2025 年の病床機能の予定」において、各医療機関の全病床数のうち 20%以上の割合を占める医療機能を記載

4. 具体的対応方針（病床機能および病床数）合意の方針（事務局案）

上記 3 のとおり、地域における役割分担ができており必要な機能を担っていただいていることから、現在の病床機能・病床数と地域医療構想における必要病床数には解離はあるものの本年度としては合意とするとともに、来年度以降も新興感染症への対応に関する動向に注視しながら、回復期病床が不足していることをはじめとする課題について議論を進めていくこととする。